2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科目	区	分	専門分野	授業の方法		講義
科目名	テーピング理論・演習		必修/逞	₹択0	別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及7	ブ曜日	寺限	後期	教室名		406
担当教員	太田 珠代	実務経験と その関連資格	理学療法士として病院での勤務経験あり						

《授業科目における学習内容》

スポーツ・運動指導に関わる者として基本的なテーピング技術を身に付け、発生する障害のメカニズムをや症状を知り、障害 の予防への理解を深める。また、この授業の延長上には資格試験にの繋がる。

《成績評価の方法と基準》

1、定期試験または実技試験;70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

やさしいスチューデントトレーナーシリーズ(テーピング)、配布資料

《授業外における学習方法》

テーピング技術は繰り返し行うことが必要になる。授業外での自己練習を続ける。

《履修に当たっての留意点》

資格にも繋がる為、速さと正確な技術が求められる。

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
男 1	講義形式	授業を 通じての 到達目標	テーピングの歴史、基本を理解できる①		特になし	
		各コマに おける 授業予定	テーピングとは、テーピングの目的・効果・注意点	配布資料		
第 2	講義演	授業を 通じての 到達目標	テーピングの歴史、基本を理解できる②		前回の講義について理 解していること	
回	興習形式	各コマに おける 授業予定	種類、ポイント、必要備品、扱い方の基本	配布資料		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	テーピングの基本テクニック		前回の講義について理 解していること	
3	自形式	各コマに おける 授業予定	アンダーラップ、アンカーテープ、スパイラルサポート、エックス サポート、フィギアエイト 等	配布資料		
第	演	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
4	習形式	各コマに おける 授業予定	下肢テーピング実践①(足部)	配布資料		
第 5 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	下肢テーピング実践②(足関節)	配布資料		

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 6 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	下肢テーピング実践③(下腿)	配布資料		
第 7 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	下肢テーピング実践④(膝関節)	配布資料		
第 8 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	下肢テーピング実践⑤(大腿・股関節)	配布資料		
第 9 回	演習	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
	形式	各コマに おける 授業予定	下肢テーピング実践⑥(復習)	配布資料		
第 10 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	腰部テーピング実践	配布資料		
第	演習形式	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
11		各コマに おける 授業予定	上肢テーピング実践①(肩関節)	配布資料		
第 12 回	演	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
	習形式	各コマに おける 授業予定	上肢テーピング実践②(前腕・肘関節)	配布資料		
第	演習	授業を 通じての 到達目標	各部位別仕組み・外傷・障害を理解し、テーピング方技術を身に付けることができる		前回の講義について理 解していること	
13 回	曾形式	各コマに おける 授業予定	上肢テーピング実践③(手部)	配布資料		
第 14 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ・運動指導現場で起こる不慮の事故の際に必要となる 応急手当のテーピング方法を理解する		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	応急手当テーピング方法	配布資料		
第 15 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	ケガの再発や悪化を防ぐための予防方法を理解する		前回の講義について理 解していること	
		各コマに おける 授業予定	再発防止テーピング方法	配布資料		